

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をささげる

都民代表:吉田つとむ(町田市議)

<編集発行>

支持政党なし TOKYO
〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評
若者育成・就業支援

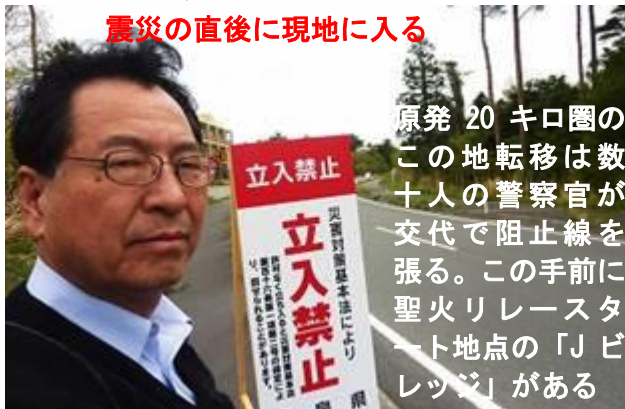
オリンピックの海外受け入れ無しは本当か

オリ・パラ委員会は橋本聖子会長(参議院議員)を始め、女性の委員が就任し、新たな装いを示しています。

そのオリ・パラ運営にあたっては、東京都の意向も含めて、外国人客を入れないで開催する案を基本に、IOCに伝えられると見られています。ただし、この開催方法は、従来から委員を続けてきた山口 香さん(オリンピック銅メダリスト、全日本選手権10連覇)が再三提起してきたことです。コロナの終息が見込めない中、オリンピックの東京大会は無理、どうしてもやるなら海外の客を入れるべきではないというものでした。

現状、日本は海外からの新規入国を停止した状況であり、オリンピックで数十万人の人が世界中から集まれば、コロナの第4次感染は避けがたく、その後どのような苦難が訪れようが、なんとしても「オリンピック開催」にこだわる東京都の小池都知事にしてみれば、「聖火リレー」実施、開会式にこぎつけるためには、経済的苦境脱出より、オリンピックだけは開催された、コロナに打ち勝ったという評価を得たいのでしょう。

震災の直後に現地に入る



原発 20 キロ圏のこの地転移は数十人の警察官が交代で阻止線を張る。この手前に聖火リレースタート地点の「Jビレッジ」がある

首都圏緊急事態宣言の継続とトップの判断

首都圏の4都県は、2ヶ月の緊急事態宣言後、さらに2週間の延長になりました。今回、東京都の小池都知事が取っている行動の中で疑問点があります。

それは、東京都は日本の中で格段に財政規模が大きな自治体であり、諸外国の中ではスウェーデンやインドネシアに匹敵すると言われていながら、今回も緊急事態の延長の是非を、肝心な時に国(政府)にゆだねていることです。本来、国家の防衛に相当する事態が東京や首都圏で起きているわけでもなく、コロナ鎮静化に自衛隊の出動が検討されているわけでもないのであり、まさに、東京都が自治の在り方として、「非常事態」の判断をtokyoで行うべきだと思っています。



現実には、東京都が行う主要な対策は、緊急事態宣言と称しながら、国の税金を大量に使って、大小の規模を無視して飲食店に毎日各6万円を配って時短をしている事業者とその家族に恩恵を施しているに過ぎないものです。本来は、延長時、再延長時に、より効果的な対策を練り返すべきであり、それらを提起するのが、小池都知事の役割と思っています。

- ★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。
- ★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をささげる
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは
左記を讀込
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

「支持政党なし」の説明②

「支持政党なし」の政治家が目指すことは、個々人の国民・住民(都民・市民)の意見がそのまま代弁され、政治に影響を及ぼすことです。現在は、伝統的な大政党やその傍流、あるいは新興・衰退政党が様々な看板を掲げて、特定思想や教義を掲げたり、カリスマに頼った手法で国民意見を反映していると称していますが、国民の大多数はその時々の経済・社会状況に応じて、政党や政治家の選択を行っていると考えています。それでは、政治家の側が、個人を縛ることを求めない、個人と自由に契約するあり方があるべきだろうと思ってきました。

そこで、「支持政党なし」を TOKYO で実現しよう、実行しようというものです。「支持政党なし」というのは、いわゆる NON-SECT (ノンセクト) になります。個人では、宗教観を含めた倫理観を有していても、政治的な価値観を秘めていたとしても、他と協同する政治家像を目指して行こうというものです。もとより、基本的な政策も異なる場合もありますが、「支持政党なし TOKYO」は、経済・社会の姿に応じた政策を打ち出していく、その実現を図る(状況主義)ものだと位置づけています。



インターン生の理系女子の参加

吉田つとむのインターンシップでは、女子が男子に比べ、圧倒的に多いのが特徴ですが、最近では理系女子の参加割合が増えています。それも「工学部」や「環境系」に集中しています。土木・建築・交通という分野の女子はまだ登場していません。

理解系のインターンシップでは、町田市では環境部、都市計画部、保健所、下水道部、道路部、などが相当するのではないかと思います。他に訪問先を広げて、インターン生の要望に沿うようにしたいと思っています。



下水処理場：成瀬クリーンセンターを見学

その他には、ベンチャー企業が多数入居する「新産業創造センター」を訪ねることがあります。これまでも、幾人ものインターン生が見学・社長面談をさせていただきました。現実には、それらの研修生は大企業に就職していますが、社会人になってからの人間関係において、学生時代における幅広い人々との交流が必ずや糧になるとと思っています。

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- 昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。